

## 志賀原子力発電所 安全性向上のための施策の一部工事開始について

平成25年6月17日  
北陸電力株式会社

当社は、新規制基準案等も踏まえ、志賀原子力発電所の安全性向上のための施策について検討を進めてきましたが、本日（6月17日）、格納容器フィルタ付ベント装置等の現地工事を開始しましたので、お知らせします。

当社は、東北地方太平洋沖地震による福島第一原子力発電所の事故を受け、安全強化策を取りまとめ、「緊急安全対策」を平成23年4月までに完了し、一層の信頼性向上を図るための「更なる対策」を実施しています。（平成25年3月22日お知らせ済み）

また、新規制基準案等も踏まえ、志賀原子力発電所の安全性向上のための施策について検討を進めてきましたが、本日（6月17日）、格納容器フィルタ付ベント装置等の現地工事を開始しました。

今後も、準備ができたところから、順次現地工事をを行うこととしています。

当社は、安全強化策を確実に実施するとともに、引き続き安全性向上のための施策の検討を進め、新規制基準への確に対応し、志賀原子力発電所の安全確保に万全を期してまいります。

以上

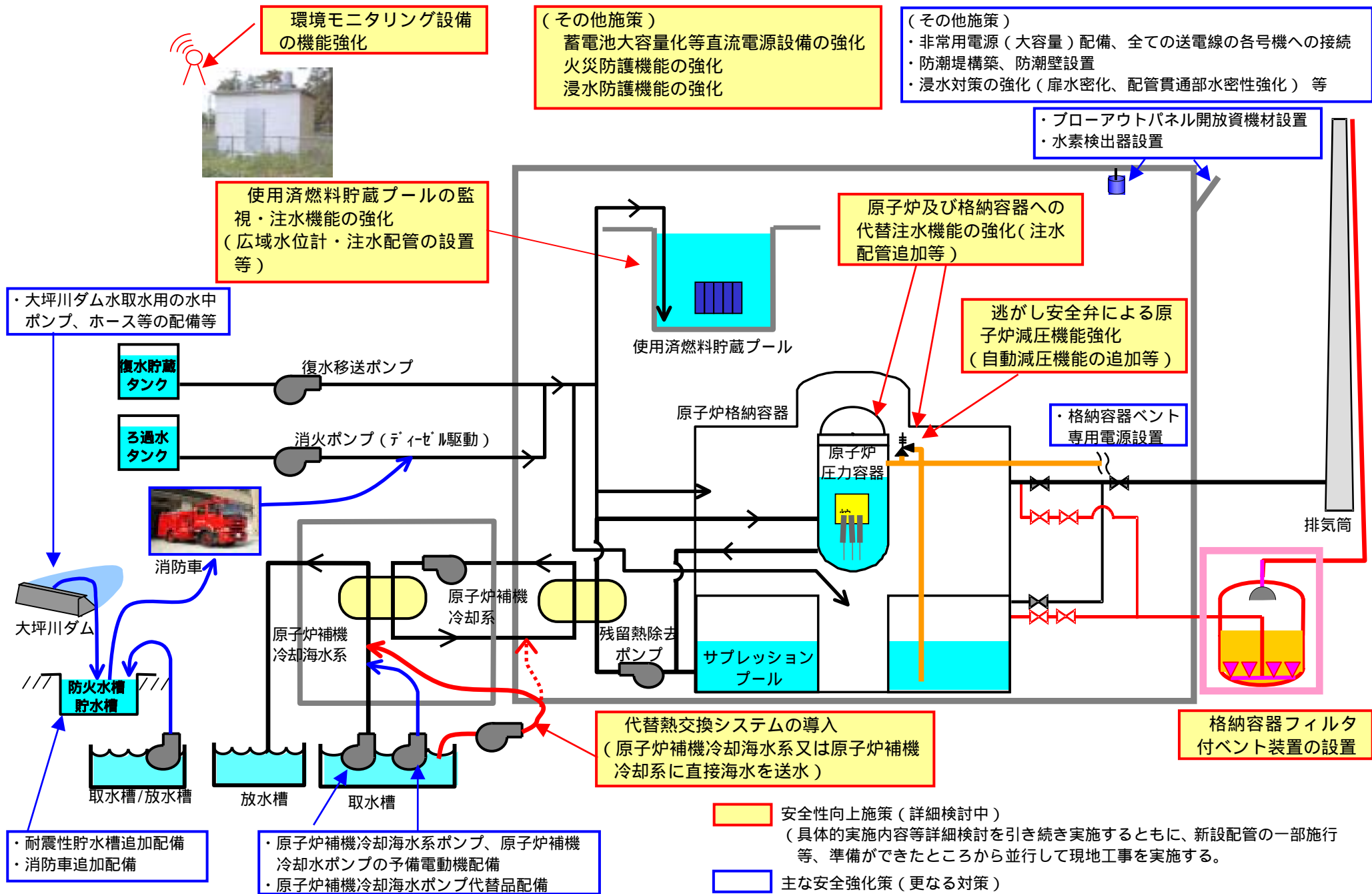
添付資料：志賀原子力発電所 主な安全性向上施策の概要

志賀原子力発電所 主な安全性向上施策の概要

施 策	施策の概要等
逃がし安全弁による原子炉減圧機能の強化	原子炉を減圧するための逃がし安全弁を、確実に動作させるための手段を追加設置
	原子炉への高圧注水機能が喪失した場合に、低圧系による速やかな注水が可能となるよう、自動で原子炉を減圧する機能を強化（1号機は対応済み）
原子炉及び格納容器への代替注水機能の強化	既存の消火ポンプや可搬型代替注水設備（消防車等）等、既設の代替注水手段に加え、ポンプ、注水配管を追加することにより、原子炉への注水機能を強化
	既設の可搬型代替注水設備（消防車等）による格納容器内への注水配管を設置することにより、格納容器への注水機能を強化
格納容器フィルタ付ベント装置の設置	事故時の格納容器の過圧破損を防止するとともに、放射性物質の放出量を低減するための装置を設置
使用済燃料貯蔵プールの監視・注水機能の強化	広域水位計、監視カメラ等の設置により、使用済燃料貯蔵プールの監視機能を強化
	既存の使用済燃料貯蔵プール冷却機能に加え、可搬型代替注水設備（消防車等）による使用済燃料貯蔵プールへの注水配管を追加することにより、注水機能を強化
代替熱交換システムの設置	海水ポンプが機能喪失した場合に、代替設備により原子炉補機冷却海水系又は原子炉補機冷却系に直接海水を送水するための手段を追加設置
環境モニタリング設備の機能強化	既存のモニタリングポスト等の信号伝送ルート（有線）が損傷した場合に、無線でデータ伝送が可能となるよう、伝送機能を強化
蓄電池の大容量化等直流電源設備の強化	全交流電源が喪失した場合に、監視や制御等が長時間可能となるよう、非常用蓄電池の追加等により、直流電源設備を強化
火災防護機能の強化	重要機器を火災から防護するための対策（火災発生防止対策、火災の感知・消火対策、火災影響軽減対策）を追加することにより、火災防護機能を強化
浸水防護機能の強化	重要機器を内部溢水等による浸水から防護するための対策（水密扉設置、配管貫通部止水処理等）を追加することにより、浸水防護機能を強化

：詳細検討中。準備ができたところから、順次現地工事を開始。

# 志賀原子力発電所 主な安全性向上施策等



**安全性向上施策（詳細検討中）**  
(具体的実施内容等詳細検討を引き続き実施するとともに、新設配管の一部施行等、準備ができたところから並行して現地工事を実施する。)

**主な安全強化策（更なる対策）**